

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
特別教養講座		大野 博之（他）	講義	1	前期
必修・選択	卒業要件	必修			
	資格要件				
学習目標	<p>知識や知能は個人的な努力によって高めることはできるが、知性、品位、正直さ、正義感、公正といった倫理感、他者との切磋琢磨の中でしか身につけることが出来ない。本学の建学の精神「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」や、教育方針「礼を尽くし、場を清め、時を守る」も、他者とのかかわり中で学び修得していくものである。特別教養講座では、高い知性、豊かな感性、そして他者から尊敬される品性を兼ね備えた社会人となるために、関係各界の専門家の講話を通じて自らの「知」と「判断力」を涵養する。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	担当者	授 業 内 容		
1	「建学の精神」と「教育方針」	大野 誠	豊かな人間性と知性を兼ね備えた社会人になるための自覚と良識		
2	学生とユニバーサルアクセス	大野博之	発達課題とチャレンジについて コミュニケーション能力について		
3	「自ら学ぶ力」と「知的正直」	大野博之	若年者のキャリア実態調査について 経済社会の変容と経済体制について		
4	生命を慈しむ心	松本昌雄	コンパニオン・アニマルの健康と生命について		
5	リベラルアーツ	橋本信也	リベラルアーツとは何か。ギリシャ時代から人類が追求してきた「教養」について学ぶ。		
6	礼儀作法（1）	初野正春	身近な礼儀作法を考察する （立居振舞・訪問・接客）		
7	礼儀作法（2）	初野正春	身近な礼儀作法を考察する （食事及び喫茶の作法、面接技法）		
8	日本語総合力の向上	大野博之	敬語、文法、語彙、表記、言葉の意味、漢字		
参 考 書	大野誠「敦照のこころ」現代書林 1995 他、担当者の指示による。				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	<ul style="list-style-type: none"> ・参考書を熟読、講義に関するノートを作成する。 ・「礼をつくし、時を守り、場を清める」を日々実践し、習慣化する。 				
評価の方法と時期	評価は、授業態度、レポート提出、筆記試験で総合的に判断する。また、日本語検定（日本語検定委員会）合格者には、取得級に応じて配慮する。				